



昨年十月から工事を進めていた市民文化会館は、現在建物本体工事を行っている。全体の六〇%を超える予定どおりの工程となっています。

また、大ホールの「どん帳原画」に長谷川善四郎画伯の「奥羽山脈」、中ホールの「杉林の太陽」と決定しました。

どん帳原画決定

今年の工程は、どん帳の調製、電気、舞台音響、照明、客席工事などで、来年二月末の完成を目指して工事は今急ピッチで行われています。



市民文化会館は、昨年十月十日より起工式を行い、鉄筋コンクリート造り四階建、総工費二十四億三千二百八十五万五千円で着工しました。

建設工事は、昨年十二月まで基礎工事を完了し、今年雪解けと同時に建物本体工事に着手。

現在は、大ホールの舞臺上部の本体工事（中ホールの本体工事はほぼ完成）、空気調和、給排水、電気設備などの工事を行つており、九月上旬には外側が完成します。

これからは舞台機構、音響、照明、客席などの内部工事が行なわれ来年二月末には文化の殿堂が完成する予定です。

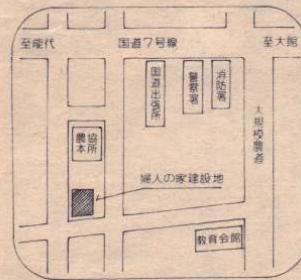
「ありがとう運動」
図画の部特選の
村尾卓也君（八歳）

て選ばれたものです。
今回の受賞について、「自分ではあまり上手だとと思わなかつたし、ほかの方もも

第三回あいがとう大館市民運動（大館商工会議所主催）の一環として、市内小中学生から募集した図画の部で、城南小学校二年の村尾卓也君が、みこと特選を射止めました。全部で三十七点の応募がありましたが、卓也君の作品は最も美しい、素直さ、配列などが審査員の高い評価を得

たとうまいと思った」と、喜びの知らせにもまだビーンとしない様子。しかし家では両親がやはり絵が好きとあって特選の知らせに大喜び。「早く

速、なにかお祝いをしてあげたい」と、お母さん。「お父さんとキャッチボールをするのが一番楽しい」という卓也君ですが、夏休み中はスポーツと、絵も何枚か描きたいと笑顔で話していました。



八月十二日の議会臨時会で、「働く婦人の家」新築工事の請負契約議案が可決されました。

働く婦人の家は、県内五番目の施設として建設されるもので、二万人に及ぶ婦人労働者の福祉に、仕事の余暇を利用して日常生活に必要な知識、技能を身につけて、さらには趣味やレクリエーションを通じて勤労婦人の福祉の増進と地位の向上を図ろうと建設するものです。

研修とくつろぎの場 「働く婦人の家」を建設

建物は、鉄筋コンクリート造り二階建で、延床面積八百六十・五五坪方で、総工費一億八百二十万円、施工業者は株式会社伊藤組となっています。

施設の概要是、一階が調理室・託児室、相談室、展示・談話・図書コーナーなど、二階は講習室（和室二室）、軽運動室、茶室、学童学習室などで、五十七年三月に完成する予定となっています。



あなたの医療費はどれくらいかご存じですか？

今年から国民健康保険の加入世帯を対象に、前年度中にかかる医療費を通知書でお知らせすることになりました。この制度は、皆さんに国保財政の仕組みを理解していただき、国保事業をより健全に運営していくために実施するものです。

医療費の通知書は、八月中に発送します。通知書には、五十五年四月一日から五十六年三月末までにかかる医療費と保険税額を記載しています。医療費の額は保険適用分だけを合算しており、皆さんはこのうちの三割分を病院などに支払



眉山健治郎

文化会館建設工事順調に進む

どん帳原画決定

昨年十月から工事を進めていた市民文化会館は、現在建物本体工事を行っている。全体の六〇%を超える予定どおりの工程となっています。

また、大ホールの「どん帳原画」に長谷川善四郎画伯の「奥羽山脈」、中ホールの「杉林の太陽」と決定しました。

今年の工程は、どん帳の調製、電気、舞台音響、照明、客席工事などで、来年二月末の完成を目指して工事は今急ピッチで行われています。



長谷川画伯の「奥羽山脈」

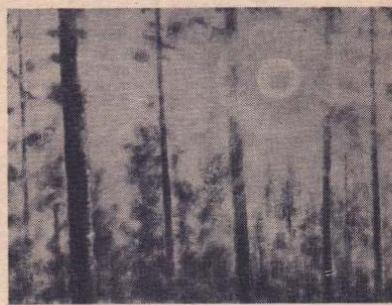
大ホールは

「奥羽山脈」のどん帳

市民文化会館の大ホール、中ホールのどん帳の原画が決まりました。原画は、市出身の長谷川善四郎画伯と市内の内田慎蔵画伯に依頼していたもの。

両画伯の作品の中から大ホールのどん帳には、長谷川画伯の「奥羽山脈」、中ホールには内田画伯の「杉林の太陽」を決定しました。今月中にどん帳の調製業者の選定を行って発注します。完成は来年の二月になる予定です。

内田画伯の「杉林の太陽」



内田画伯の「杉林の太陽」

納涼の時ではありますが残暑を可能な限り期待したいものです。

永久平和の誓い

三十六回目の終戦日の前日、多くの遺族の方々と来賓のご臨席をいたしまして、慰霊祭が催されました。

理由はどうあれ、近代社会国家間で戦争に訴えることがあってはなりません。私たちはあの尊い犠牲と経験を忘ることなく、永遠の平和と不再戦を誓い、そのための最大の努力をする

ことこそ、戦没者ご遺族に対する報恩であると思います。

ます。

ところで、その永久平和の誓いとは未だ係に「自衛隊強化」「憲法改正論」「自衛隊書国定化論」など歴史の繰り返しを思われる言動

が多いことに不安感を抱かざるを得ません。被害者であり加害者である戦争を、好む人は一人もいないと確信します。問題は「力の均衡こそ平和」と唱え、軍備力を食い物にしながら、知らず知らずのうちに危険な道を歩んでいることです。

あらためて生活の中から平和を問い合わせなければなりません。

が、今後は違います。相談することは結構ですが最終判断、決断はな

にあり、その責任が義務づけられています。自分の

言論と行動には大胆な中

すが最終判断、決断はな

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い